

## 研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： オートファジーの膜動態解明を志向した構造生命科学
2. 研究代表者： 野田 展生（(公財)微生物化学研究会微生物化学研究所 主席研究員）
3. 中間評価結果

オートファジー研究は世界的に熾烈な競争が繰り広げられているが、研究代表者グループは、非常に複雑なオートファゴソームの形成の各段階について、関与する殆ど全ての Atg タンパク質およびその複合体の構造を解き明かすことに取り組み、顕著な成果を着実にあげている。特に、オートファジーの最上流で機能し、オートファジーの始動を制御する Atg1/ULK 複合体に関して、研究代表者のグループはその構造解析に成功しつつあり、飢餓によりオートファジーが始動するメカニズムの分子レベルでの解明が期待される。主たる共同研究者である中戸川グループの核選択的、小胞体選択的なオートファジー因子の発見も特筆される成果であり、これらの選択的オートファジーについての構造生物学的な解析を期待したい。また、主たる共同研究者の離脱があったにも関わらず、そのグループを研究代表者が吸収し、研究の遅滞を招くことなく猛烈なスピードで研究を進展させている。チーム全体で計画通りに研究が進められており、今後のさらなる研究の進展を期待したい。